

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

令和2年12月25日

計画の名称	横須賀港における安全・安心対策に係る港湾・海岸の整備（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	横須賀市												
計画の目標	台風や低気圧等に伴う、高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設を整備し、人命・財産を防護する。 また、既存施設の適切な維持管理等を行い、背後地の安全性、船舶係留や荷役作業の安全性の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,809	A	3,630	B		C	179	D		効果促進事業費の割合C/（A+B+C+D）	4.7	%

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	浸水想定区域面積を15.6ha（想定区域内人口933人）(H27)から13.8ha（H31）へ減少させる。 浸水想定区域面積 浸水想定区域面積／人口	15.6ha		13.8ha
2	横須賀港において長寿命化計画を策定すべき全ての海岸保全施設の長寿命化計画を策定する。 海岸保全施設の長寿命化計画策定率 長寿命化計画が策定された地区海岸数／長寿命化計画を策定すべき地区海岸数（%）	0%		100%
3	老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全な施設を提供する。 老朽化施設の改良率（改良完了施設数／早期に改良が必要な施設）	24%		42%

備考	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>
----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計 画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-003	海岸	一般	横須賀市	直接	横須賀市	高潮	—	横須賀港海岸 (大津・馬堀地区)	護岸 L=517m	横須賀市	■	■	■	■	■	1216	—	—	
		H27～R1:A09-003																		
	A09-004	海岸	一般	横須賀市	直接	横須賀市	侵食	—	横須賀港海岸 (野比地区)	突堤1基、 離岸堤2基	横須賀市	■	■	■	■	■	2034	—	—	
		H27～R1:A09-004																		
	A09-005	海岸	一般	横須賀市	直接	横須賀市	老朽化	—	長寿命化計画策定	海岸保全施設 8地区海岸	横須賀市		■	■	■	■	80	—	—	
												小計						3330		
												合計						3330		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>計画策定主体(横須賀市)による評価</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和2年12月</p> <p>公表の方法</p> <p>市ウェブサイト内での公表</p>
-------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高潮対策(大津地区)について、護岸上部工の整備が完了しなかったことから、所要の高さを確保しておらず、定量的指標の達成に至らなかった。 侵食対策(野比地区)について、離岸堤2基の整備が完了したが、突堤等が未整備となったため定量的指標の達成に至らなかった。 海岸長寿命化計画策定について、対象となる海岸保全施設の長寿命化計画が策定され、同計画に基づいた維持管理ができることとなった。 港湾施設の改良について、指標の改善には至っていないが、一部の港湾施設の改良が進み、大型船係留にあたっての安全性の向上が図られた。
<p>定量的指標以外の 交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 浸食対策(野比地区)について、整備が完了した同離岸堤群は背後地の浸水からの防護機能を発揮しているが、突堤を整備することによりさらに十分な効果が発現すると考えられる。また、離岸堤群は背後水域への堆砂効果を有するため、背後地の侵食防護の効果を発揮していると考えられる。

○特記事項(今後の方針等)

・高潮、侵食対策ともに完遂することが人命、財産の保護において必要不可欠と考えられるため、一部完了しなかった要素事業については令和2年度から令和6年度を事業期間とする社会資本総合整備計画に位置付け、引き続き整備を進める。

○目標値の達成状況			
番号	指標(略称)		
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	浸水想定区域面積を15.6ha(想定区域内人口933人)(H27)から13.8ha(H31)へ減少させる。		
	最終目標値	13.8ha	海象条件や海域利用などによるスケジュールの制約もあり、整備期間が長期化している。下部工から上部工に向けて水平的に施工を進めているものの、上部工まで完了せず、所要の機能を発揮しないため、定量的指標の数値改善に至らなかった。
	最終実績値	15.6ha	
2	横須賀港において長寿命化計画を策定すべき全ての海岸保全施設の長寿命化計画を策定する。		
	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
3	老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全な施設を提供する。		
	最終目標値	42%	緊急性や即効性の高い事業を優先的に実施しており、目標を達成するための整備の進捗が図れなかった。
	最終実績値	24%	